

特定非営利活動法人 劇団ゆう

岩手県滝沢村

【活動概要・効果】

☆世代を越えて創作の喜びと感動を体験できる劇団

○郷土に夢と誇りを持って生きる子供たちの育成及び住民参加型文化活動の地方発信を目的に結成。演劇を通じて地域の連携、異世代交流、青少年の健全育成に取り組む。「地域づくりネットワークもりおか」の事務局として、盛岡地方振興局管内の地域づくりのリーダーとしての役割を担っている。

☆平成3年の設立以来、「子どもたちに夢と感動を！」をモットーに、一貫して青少年の健全育成と芸術文化の振興に取り組んでおり、定期公演のほか、チャリティーミュージカル、過疎地域における「夢いっぱいコンサート」等を毎年開催し、県内外の住民に感動を与え続けている。

☆新聞等メディアへの登場回数も多く、「滝沢村」のPRの機会は非常に高く、団体が指定管理者を務める「滝沢ふるさと交流館」の利用者数も年間10万人に迫るなど、飛躍的に伸びており、地域の活性化につながっている。



青年隊ミュージカル「ピーターパン」沖縄公演

《人員確保での工夫・苦労》

特徴ある人材育成として、より近い先輩が後輩を指導するピラミッド型指導システムである。これは全国各地で行っている行政との協働の事業でも実施しているが、参加者が気軽に体験できることもあり、底辺を広げるためには非常に良いシステムだと思っている。また、指導する立場の団員には、より高い技術を極めて貰うために、それぞれの分野で活躍するプロの方々のハイレベルレッスンを受ける機会を設けている。

《活動資金確保での工夫・苦労》

より安定した活動を行うために賛助会員制度を設けているが、毎年年会費が落ち込んでいる。活動が飛躍的に広がりを見せているのと反比例して経営は「劇団火の車」状況になっており、公的助成金の活用や企業からの助成金に目を凝らしている。

【現場の声】

世界公演による、日本の美しい心を世界の子供たちに発信する活動を通じて会得したことは、

- ① 直観力・洞察力・大局力・納得させる力・責任力を身につけるため論理と体験を究める。
- ② 目的を達成するために理念を実行する集中力・持続力を身につける。
- ③ 組織の意志を決定するにあたって、合議、または真理は逆の中にあることを考慮し、多様な意見を聞き衆知を集めるが、最後は理事長が決断し自分の退路を絶って実行に当たる。
- ④ 組織や経験から善し悪しの双方の反省点を明確に捉え、体験や知恵に活かした学び合う組織文化をつくる。
- ⑤ 論理を語るのではなく、相手の心に自分の真理を語りかけ納得してもらい協力者の環を広げる。
- ⑥ 全ては人の心と縁が紡いでいく活動である。

～特定非営利活動法人 劇団ゆう
菊田 悌一さん



全国移動ミュージカル公演「福井公演・風のなかの賢治」